

平成24年度 第4年次編入学生募集要項

I. 推薦による選抜

1. 募集学科・学年・人員

学 科 名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 物 質 工 学 科	第4学年	若 干 名 (各学科2名程度)

2. 出願資格

次に掲げる者で、下の推薦条件（ア）（イ）（ウ）を全て満たし、在籍学校長が責任を持って推薦できる者とします。

- (1) 工業高等学校を平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業に関する学科を平成24年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の工業に関する学科を平成24年3月卒業見込みの者

推薦条件

- (ア) 健康で、人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲のある者
- (イ) 学科（クラス）での成績が上位30%以内（1・2年次の平均）かつ全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度で、ジュニアマイスターシルバーの称号以上を取得している者
- ただし、ジュニアマイスター称号取得においては、申請時の「資格・検定試験」の点数が、シルバーの場合は総得点の50%以上（または15点以上）、ゴールドの場合は総得点の30%以上（または13点以上）となっている者
- (ウ) 本校に入学する意志が強固であって、合格した場合は必ず入学する者

3. 志望学科

志望学科	出身校における所属科等
機 械 工 学 科	機械科、電子機械科、機械システム科等
電 気 電 子 工 学 科	電気科、電子工学科、情報技術科等
電 子 制 御 工 学 科	電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	工業化学科、化学工学科、材料技術科等

4. 願書受付

期 間	平成23年7月5日（火）から7月8日（金）まで （郵送の場合も7月8日（金）までに必着のこと。）
時 間	午前8時30分から午後5時まで。（土・日曜日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係

5. 出願手続き

志願者は、次の書類を取りまとめ、在籍学校長を經由して本校「学生課教育支援係」へ提出してください。なお、郵送の場合は、書留郵便にして「編入学（推薦）願書在中」と朱書してください。

編 入 学 願 書	本校所定の用紙を使用してください。
受験票及び写真票	本校所定の用紙を使用し、写真を所定の位置に貼ってください。 写真は、正面上半身脱帽で出願3ヶ月以内に撮影したもの。
編入学志望理由書	本校所定の用紙を使用してください。
推 薦 書	本校所定の用紙を使用してください。
ジュニアマイスター称号 取得証明書	本校所定の用紙を使用してください。
調 査 書	出身学校所定の用紙を使用してください。（「評定」欄は、第1学年及び第2学年のみ記入してください。）
入 学 検 定 料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の振込用紙により志願者本人の名前で、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の窓口から振り込んでください。（ATM使用不可）振り込み後「検定料納付証明書」を編入学願書に貼付してください。（既納の検定料は、いかなる理由があっても返還できません。）</p> <p>振込期間 平成23年6月27日（月）～7月8日（金）</p> <p>※ 振り込みの際は銀行の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。また、検定料を願書受付最終日に振り込む場合は、振り込み後当日午後5時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p>
受験票返送用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に80円切手を貼付したものを同封してください。（願書持参の場合は不要）

6. 身体等に障がいのある志願者との事前相談

編入学志願者で身体等に障がいがあるため、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、平成23年6月24日（金）までに学生課教育支援係に相談してください。

7. 選抜方法

「推薦による選抜」は、在籍する学校長から提出された推薦書、ジュニアマイスター称号取得証明書、調査書及び面接の総合判定とします。なお、面接では基礎的な問題について口頭試問を行います。

面接の日時・場所

期 日	集合時間	面接開始時間	場 所
平成23年7月28日（木）	午前9時	午前9時30～	佐世保工業高等専門学校

8. 合格者の発表

- (1) 発表日時 平成23年8月1日（月） 午前10時
- (2) 発表方法 合格者は、学内に受験番号を掲示するとともに、本人及び在籍する学校長宛に文書で通知します。なお、文書の到着は、8月2日（火）以降になります。
また、合格者の受験番号は、本校ホームページでも発表します。
アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>
(電話による問い合わせには応じられません。)

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成23年8月19日（金）までに「入学確約書」を提出しなければなりません。期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

10. 「推薦による選抜」に不合格となった者の取扱い

「推薦による選抜」の結果、不合格となった者で、「学力による選抜」の受験を希望する場合は、再度出願の手続きを行ってください。

Ⅱ. 学力による選抜

1. 募集学科・学年・人員

学 科 名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科 電 子 制 御 工 学 科 物 質 工 学 科	第 4 学 年	若 干 名

2. 出願資格

- (1) 工業高等学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業に関する学科を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の工業に関する学科を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- (4) 高等学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- (5) 中等教育学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者

3. 志望学科

志望学科	出身校における所属科等
機 械 工 学 科	普通科、理数科、機械科、電子機械科、機械システム科等
電 気 電 子 工 学 科	普通科、理数科、電気科、電子工学科、情報技術科等
電 子 制 御 工 学 科	普通科、理数科、電子工学科、電子情報科、電子機械科、情報技術科等
物 質 工 学 科	普通科、理数科、工業化学科、化学工学科、材料技術科等

4. 願書受付

期 間	平成23年8月2日（火）から8月8日（月）まで （郵送の場合も8月8日（月）までに必着のこと。）
時 間	午前8時30分から午後5時まで。（土・日曜日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係

5. 出願手続

志願者は、次の書類等を取りまとめ、出身学校長を経由して本校「学生課教育支援係」へ提出してください。なお、郵送の場合は、書留にして「編入学願書在中」と朱書してください。

編入学願書	本校所定の用紙を使用してください。
受験票及び写真票	本校所定の用紙を使用し、写真を所定の位置に貼ってください。 写真は、正面上半身脱帽で出願3ヶ月以内に撮影したもの。
編入学志望理由書	本校所定の用紙を使用してください。
調査書	出身学校所定の用紙を使用してください。(卒業見込み者の「評定」欄は、第1学年及び第2学年のみ記入して下さい。)
健康診断書	平成23年3月以前の卒業者は、本校所定の用紙に医療機関の医師が作成したものを提出してください。
卒業見込証明書 又は卒業証明書	出身学校所定の用紙を使用してください。
入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の振込用紙により志願者本人の名前で、金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の窓口から振り込んでください。(ATM使用不可)振り込み後「検定料納付証明書」を編入学願書に貼付してください。(既納の検定料は、いかなる理由があっても返還できません。)</p> <p>振込期間 平成23年7月25日(月)～8月8日(月)</p> <p>※ 振り込みの際は銀行の営業日、営業時間を十分考慮して手続きを行ってください。また、検定料を願書受付最終日に振り込む場合は、振り込み後当日午後5時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p>
受験票返送用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に80円切手を貼付したものを同封してください。(願書持参の場合は不要)
受験承諾書	既に就職している者又は大学に在学中の者については、その所属長の「 受験承諾書 」を本校校長あてに提出してください。 なお、様式は任意とします。

6. 身体等に障がいのある志願者との事前相談

編入学志願者で身体等に障がいがあるため、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、平成23年7月22日(金)までに学生課教育支援係に相談してください。

7. 選抜方法

「学力による選抜」は、学力試験の成績、出身高等学校長からの調査書及び面接等の結果を総合して行います。

(1) 学力試験

ア 学力試験は、筆記試験を行います。

イ 出願資格(1)～(3)の者についての出題する教科及びその範囲は、次のとおりとします。

なお、電気電子工学科の専門科目については、必須科目として「電気基礎」は全員受験し、選択科目として「電子回路」・「電子情報技術」・「電気機器」の3科目から2科目を選択して受験してください。

		科目名	出題範囲
専門科目	機械工学科	機械工作	工業材料、鋳造、塑性加工、溶接
		機械設計	力と運動、仕事と動力、材料の強さ 機械要素と設計(軸受、ばね、歯車を除く。)
	電気電子工学科 (選択科目は3科目中2科目を受験すること。)	電気基礎 (必須科目)	電気と磁気、静電気、直流回路計算、交流回路計算
		電子回路 (選択科目)	半導体と半導体素子、電子回路
		電子情報技術 (選択科目)	論理回路、P進数
		電気機器 (選択科目)	直流機、変圧器、誘導機
	電子制御工学科	電気基礎	磁気と静電気、直流回路、交流回路
		電子回路	電子回路
		電子情報技術	論理回路、ブール代数
		プログラミング技術 ソフトウェア技術 (コンピュータ応用)	アルゴリズム
物質工学科	工業化学	物質の構成と化学結合、固体の構造、溶液濃度の計算、 化学反応、有機化合物	
	化学工学	化学工学に関する単位、物質収支、流体輸送、熱の移動	
一般科目	各科共通	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ(積分を除く)
		英語	英語Ⅰの全範囲

※ 機械工学科及び物質工学科の専門科目については、関数電卓の使用を許可しますので持参してください。(ただし、ポケットコンピュータは不可。)

ウ 出願資格(4)、(5)の者についての出題する教科及びその範囲は、次のとおりとします。

教科名	学科名	出題範囲
英語	全学科	英語Ⅰ、英語Ⅱ
数学	〃	数学Ⅰ、数学Ⅱ（積分を除く）
理科	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科	物理Ⅰ、物理Ⅱ（原子・電子と物質の性質、原子と原子核を除く）
	物質工学科	化学Ⅰ、化学Ⅱ

(2) 学力試験、面接の日時

ア 出願資格(1)～(3)の者についての日時

月 日	試験項目	時 間
8月23日(火)	受験者集合	8:30
	専門科目	9:00～10:40(100分)
	数 学	10:50～12:20(90分)
	英 語	13:20～14:20(60分)
	面 接	14:30～

イ 出願資格(4)、(5)の者についての日時

月 日	試験項目	時 間
8月23日(火)	受験者集合	8:30
	理 科	9:00～10:40(100分)
	数 学	10:50～12:20(90分)
	英 語	13:20～14:20(60分)
	面 接	14:30～

(3) 試験会場 佐世保工業高等専門学校

8. 合格者の発表

(1) 発表日時 平成23年9月1日(木) 午前10時

(2) 発表方法 合格者は、学内に受験番号を掲示するとともに、本人に文書で通知します。
 なお、文書の到着は、9月2日(金)以降になります。
 また、合格者の受験番号は、本校ホームページでも発表します。

アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>

(電話による問い合わせには応じられません。)

9. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、指定した登校日に「入学確約書」を提出しなければなりません。提出しなかった者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅲ. 編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件

1. 編入学の時期は、平成24年4月1日とし、第4年次に編入となります。
2. 編入した者の修業年限は2年です。
3. 本校の卒業に必要な最低修得単位数は、一般科目81単位及び専門科目86単位の計167単位です。編入学後は、申請に基づき認定審査等を行い、入学前の履修した単位等の一部を本校の卒業要件単位として認定します。ただし、原則として本校の第3年次までに開講している一般・専門科目の単位数を限度とします。
4. 履修する科目等については、入学後個別に指導します。

Ⅳ. 注意事項等

1. 提出書類の不備なものは受け付けません。また、提出書類に不正の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
2. 募集要項その他出願に必要な諸用紙は、本校「学生課教育支援係」に請求してください。郵送希望の場合は、宛先、郵便番号等を明記し、送料（切手210円）を同封してください。
3. 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ① 本校に出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - ② 誤って二重に払い込んだ場合
4. 受験の際には、必ず受験票を持参してください。

Ⅴ. 個人情報の取り扱いについて

編入学志願者から提出された願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

編入学のための学校案内

- 1 創 立 昭和37年4月1日
- 2 本校の目的 本校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた有為な技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業生には「準学士」の称号が与えられます。
- 3 編入学制度 高等学校の卒業生に対して本校第4学年への編入学の門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。
本校では昭和60年度からこの制度を導入し、平成23年度までに工業高校から143名、普通校から10名の高等学校卒業生を受け入れています。
- 4 修業年限 2年（中学校卒業生の5年一貫教育ですが第4学年へ編入のため）
- 5 教育課程 高等専門学校の特徴は、実験・実習を重視した教育を行い、一般科目、基礎専門科目及び専門科目が相互に関連づけられて、効果的に教育課程が編成されていることです。
- 6 学 寮
本校は、教育の一環として、共同生活を通じて人間形成を図るため、第1学年及び第2学年の男子学生について全寮制を実施しており、女子学生及び第3学年以降の男子学生は希望者を選考して入寮を許可しています。編入学生についても、同様に選考して入寮を許可します。4、5年生の寮室は個室か2人部屋で、各人ごとにベッド、ロッカー、自習机、椅子、本棚が設置されています。なお、冬期には、全寮スチーム暖房を行っています。
- 7 入学料・授業料免除及び徴収猶予制度
 - (1) 入学料について
入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡又は風水害等の災害を受ける等入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。
 - (2) 授業料について
経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生に対しては、選考のうえ授業料の全額又は半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

8 奨学制度

学業・人物ともに優秀であって、学費の支弁が困難と思われる学生については、選考のうえ日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

編入学年度	年次	第一種（無利子）		第二種 （利息付）但し、4・5年のみ
		自宅	自宅外	
23	4	3万または 4万5千円	3万または 5万1千円	3万、5万、8万、10万、12万 より選択

※第二種奨学金 …… 利息付奨学金のことで本人が貸与月額（上記参照）を自由に選択することができる。（在学中は無利息）

9 卒業後の進路

本校は、既に6,339人の卒業生を社会に送り出し、大多数の者は各種の企業に就職して、それぞれの分野で活躍しており、また、一部の者は大学に進学し、さらに大学院へ進んだ人もいます。

9-1 就職について

産業界における高専卒業生の評価は非常に高く、毎年100%の就職率を誇っており、仕事の内容は、研究・開発・設計・生産管理等の分野で活躍しています。

主な就職先は次のとおりです。

- ◇ **機械** 牧野フライス製作所 日立ピアメカニクス 三菱重工 コマツ ニコン オリンパス
日本精工九州 ダイキン工業 キヤノン 矢崎総業 長崎キヤノン
東芝機械 西島製作所
- ◇ **輸送用機器** トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 マツダ
いすゞエンジニアリング トヨタテクニカルディベロップメント
- ◇ **陸運** JR九州 JR西日本 JR東日本 JR東海 JR貨物
- ◇ **食品** 江崎グリコ 森永乳業 日本ミルクコミュニティ サントリーホールディングス
- ◇ **鉄鋼** 新日本製鐵 日鐵プラント設計 JFEスチール
- ◇ **繊維・パルプ** ユニチカ 日清紡ホールディングス 東レ 大王製紙
- ◇ **化学・窯業** 花王 旭化成 住友化学 日立化成工業 三菱化学エンジニアリング チッソ
日本触媒 DIC 大日精化工業 東燃ゼネラル石油 出光興産 カネカ 新日本石油
- ◇ **電気機器** ソニー デンソー 日本IBM パナソニック 日立製作所 シャープ
アルプス電気 パイオニア 富士通テン パナソニック電工 三菱電機 日東電工
- ◇ **電気・ガス** 中部電力 関西電力 九州電力 大阪ガス 東京ガス 東京電力
- ◇ **サービス** NTT NHK 安川エンジニアリング 三菱電機ビルテクノサービス
パナソニックコミュニケーションズ FJQS
- ◇ **地元企業** 西部ガス 九州電力 安川電機 三菱重工業長崎造船所
佐賀鉄工所 中興化成工業 ソニーセミコンダクタ九州 SUMCO TECHXIV
東京エレクトロン九州 九電工 大新技研 宮本電機 長菱制御システム 九州テン
日本理工医学研究所 長菱設計 微研テクノス たらみ 大島造船所

9-2 進学について

高専の卒業生は、技術者として、十分な素養と専門的な学力を身につけているが、卒業後さらに勉学を続けたい者には、高専専攻科への入学と大学3年次への編入学の途が開かれています。

- (1) 高専卒業後、2年の修学期間が必要な専攻科を置く高専が全国に51校あります。平成9年度より本校にも専攻科が設置され、1学年20名程度の卒業生を受け入れて現在54名の専攻科生が在学しています。本校の専攻科は機械工学専攻、電気電子工学専攻及び物質工学専攻の3専攻があり、専攻科は、高専卒業生が高専で引き続いて、より高度の高専の教育理念に基づいた教育と研究の指導が受けられます。専攻科修了者は、一定の要件を満たすと学士の学位(大学卒業と同じ資格)を取得でき、大学院へ進学することもできます。

なお、本校では、平成15年度よりJABEE対応教育プログラム(第10項参照)をスタートさせました。

- (2) 高専卒業生の編入学を認めている主な国公立大学は次のとおりで、○印の大学は、本校より編入実績のある大学です。(工学部約120大学、理学部12大学)

この他に多数の私立大学があります。

○長岡技術科学大学	○千葉大学	○福井大学	○九州工業大学
○豊橋技術科学大学	○東京大学	○三重大学	○熊本大学
○北海道大学	○京都大学	○大阪府立大学	○佐賀大学
○室蘭工業大学	○電気通信大学	○島根大学	○大分大学
○東北大学	○東京農工大学	○岡山大学	○宮崎大学
○秋田大学	○東京工業大学	○神戸大学	○鹿児島大学
○岩手大学	○静岡大学	○広島大学	○大阪大学
○群馬大学	○名古屋工業大学	○山口大学	○横浜国立大学
○茨城大学	○金沢大学	○愛媛大学	○高知大学
○筑波大学	○信州大学	○徳島大学	
○埼玉大学	○京都工芸繊維大学	○香川大学	
○新潟大学	○山梨大学	○九州大学	

10 日本技術者教育認定機構(JABEE)対応教育プログラムについて

高専本科5年課程を経て、専攻科教育課程の必要な単位を修得し、一定の要件(学修成果レポートの提出と小論文試験)を満たせば、大学評価・学位授与機構から『学士(工学)』の学位が授与され大学学部卒業と同等となり、大学院への進学も可能となります。

また、平成15年度からは、本科4、5年と専攻科を合わせた4年間の教育において、日本技術者教育認定機構(JABEE)対応の技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を設定し、平成16年度にその審査を受け本審査に合格しました。平成16年度修了生より「JABEEプログラム修了生」として国際的に認められた技術者として認定されます。

佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム

(1) プログラム名

「複合型もの創り工学」

(2) 育成する技術者像

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「もの創り」を行うために、各専門分野（機械工学、電気電子工学、物質工学）について深い専門性を養いつつ、先進的な他の専門分野の知識と技術も身につける複合的な教育を行うことにより、複眼的な問題解決能力を備えた創造性豊かな、世界に通用する「もの創り技術者」を育成します。

(3) 学習・教育目標

(A) 工学の基礎と専門

- 1) 数学（微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など）と自然科学（物理、化学など）の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること
- 2) 情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること
- 3) 基礎工学の知識を身につけて、複合化した「もの創り」の実務における工学的諸問題の解決に応用できること
- 4) それぞれの専門分野における“もの創り”のための4つの専門科目群（材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系）の知識を身につけて、“もの創り”に応用できること

(B) 地球的視点と技術者倫理

- 1) 他国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること
- 2) 技術が社会や自然に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること

(C) コミュニケーション能力

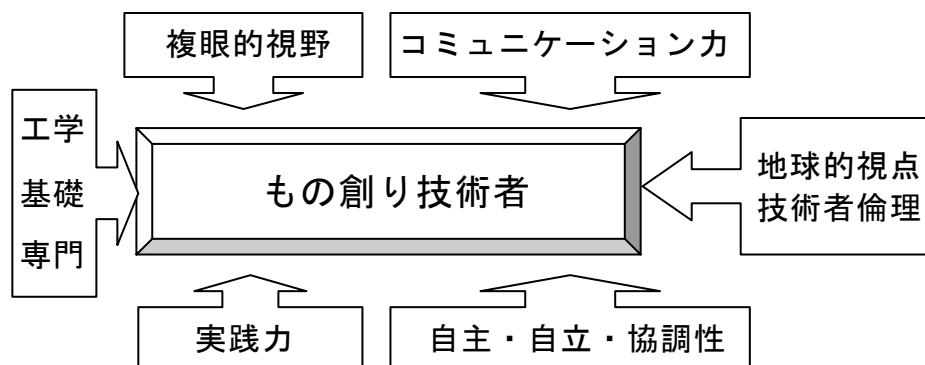
- 1) 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること
- 2) 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること
- 3) 英語による基礎的なコミュニケーションができること
- 4) 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること

(D) 複眼的かつ実践的能力

- 1) 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること
- 2) いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること
- 3) 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること
- 4) 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること

(E) 自主・自立と協調性

- 1) 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること
- 2) 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること
- 3) 健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること



(4) プログラムの構成

本科4、5年と専攻科の2年までの4年間で構成されています。（全学科及び全専攻）

(5) プログラム履修者の決定

専攻科への入学をもって対象者と決定します。

(6) 認定対象学生

認定対象は専攻科修了生全員です。

(7) プログラムの修了要件

本プログラムの修了要件の全てを満たした者に修了証書を授与します。

[佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」の履修規程抜粋]

第7条 本プログラムの修了要件は次の各号とし、全てを満たした者に修了証書を授与する。

- 一 本校の専攻科教育課程の必要な単位を修得すること。
 - 二 大学評価・学位授与機構より、学士の学位を受けること。
 - 三 本プログラムにおいて、124単位以上を修得すること。
 - 四 学習保証時間の総計がJABEE基準を満たしていること。
 - 五 付表に定める学習・教育目標とその評価方法および評価基準を満たしていること。
- 2 本プログラムの修了認定は、専攻科委員会において行う。

(8) 出願資格と JABEE プログラム修了要件について

専攻科に入学した者は、全員、佐世保工業高等専門学校本科・専攻科「複合型もの創り工学」プログラムの履修者となります。しかし、本教育プログラムは、具体的には佐世保工業高等専門学校の本科4、5年生及び専攻科1年、2年のカリキュラム（平成16年4月1日から施行）で構成されていますので、募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、JABEEプログラムの修了要件を満たさない場合があります。

専攻科の入学合格者で、JABEEプログラム修了要件を満たさない場合は、専攻科入学後に補講等により、学力認定を受け、定められた基準を満たす必要があります。

① 佐世保工業高等専門学校卒業（見込み）者の場合

JABEE「複合型もの創り工学」プログラムに規定されている科目を専攻科入学前に履修しないで合格となった者は、入学後に補講等でこれらの科目を受講し、単位を修得する必要があります。

佐世保工業高等専門学校卒業者であっても、平成15年3月以前の卒業者に対しては成績証明書、シラバス等で個別の審査を実施します。審査の結果、修了要件を満たさないと判定された場合は、補講等を受講し、学力認定を受け、定められた基準を満たさなければなりません。

② 佐世保工業高等専門学校卒業者以外の場合

佐世保工業高等専門学校卒業者以外で合格した者については、成績証明書、シラバス等の学習保証時間を証明することができる書類により履修科目を個別に審査します。審査の結果、本校と同等の科目・基準で修得したと認められない場合には、補講等を受講し、定められた基準を満たす必要があります。

1.1 入学後の所要経費

名 称		区 分	入学時（4月）	10月	備 考
入 学 料			84,600円	0円	3月中に納付
授 業 料			117,300円	117,300円	年2回に分納
学 生 会	入 会 金 費		1,500円	0円	入学時のみ 年2回に分納
			7,500円	7,500円	
工 場 見 学 旅 行 経 費			100,000円	0円	第4学年で実施
そ の 他 諸 納 金			約23,000円	約13,000円	年2回に分納
教 科 書 ・ 参 考 書 等			約30,000円	0円	
体 操 服 等			約15,000円	0円	
学 寮	寄 宿 料		4,200円	4,200円	(月額) 700円
	寮 費		35,000円	35,000円	(月額) 7,000円
	特 別 寮 費		2,000円	0円	入寮時のみ
合 計			約420,000円	約177,000円	

※ 上記の経費は平成24年度の予定額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。学寮経費については、別途1日当たり950円の給食費が毎月必要となります。

教 育 課 程 表

一般科目（機械・電気電子・電子制御工学科）

授 業 科 目		単位数	形態	学 年 別 単 位 数					備 考		
				1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	国語	国語	8	履	3	3	2				
		日本語と文学	2	学				①	①		
	社会	技術者倫理	2	学					②		
		歴史	3	履		1	2				
		地理	2	履	2						
		政治経済	1	履		1					
		国際関係論	1	学				①			
	数学	代数	4	履	4						
		幾何	3	履	3						
		代数幾何	3	履		3					
		微積分	8	履		4	4				
	理科	物理	4	履		2	2				
		化学	4	履	2	2					
		生物	2	履	2						
	体育	保健体育	6	履	2	2	2				
		健康と科学	4	履				2	2		
	芸術	1	履		1						
	外国語	英語	英語	11	履	3	3	3			
			学					①	①		
		英作文	5	履	2	2	1				
英会話		3	履	1	1	1					
	コミュニケーション	2	学				①	①			
小 計		79		24	25	17	6	7			
選択科目	地理学	2	学				②		2単位選択		
	法学	2	履				2				
	経済学	2	履				2				
	哲学	2	履				2				
	歴史学	2	学				②				
	数学特論	2	履				2				
	自然科学概論	2	履				2				
	英会話	2	履				2				
	ドイツ語	2	履				2				
	中国語	2	履				2				
	ハンガール語	2	履				2				
	フランス語	2	履				2				
小 計		24					24				
開設単位数計		103		24	25	17	30	7			
修得単位数計		81		24	25	17	8	7			
特別活動		3		1	1	1					

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数、○付数字は「学修単位」の単位数を表す。

一般科目 (物質工学科)

授 業 科 目		単位数	形態	学 年 別 単 位 数					備 考		
				1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	国語	国語	8	履	3	3	2				
		日本語と文学	2	学				①	①		
	社会	技術者倫理	2	学					②		
		歴史	3	履		1	2				
		地理	2	履	2						
		政治経済	1	履		1					
		国際関係論	1	学				①			
	数学	代数	4	履	4						
		幾何	3	履	3						
		代数幾何	3	履		3					
		微積分	8	履		4	4				
	理科	物理	4	履		2	2				
		化学	4	履	4						
		生物	2	履	2						
	体育	保健体育	6	履	2	2	2				
		健康と科学	4	履				2	2		
	芸術	1	履		1						
	外国語	英語	英語	11	履	3	3	3			
			学					①	①		
		英作文	5	履	2	2	1				
英会話		3	履	1	1	1					
	コミュニケーション	2	学				①	①			
小計		79		26	23	17	6	7			
選択科目	地理学	2	学				②				
	法学	2	履				2				
	経済学	2	履				2				
	哲学	2	履				2				
	歴史学	2	学				②				
	数学特論	2	履				2				
	自然科学概論	2	履				2				
	英会話	2	履				2				
	ドイツ語	2	履				2				
	中国語	2	履				2				
	ハンガール語	2	履				2				
	フランス語	2	履				2				
小計		24				24					
開設単位数計		103		26	23	17	30	7			
修得単位数計		81		26	23	17	8	7			
特別活動		3		1	1	1					

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数、○付数字は「学修単位」の単位数を表す。

教 育 課 程 表

専門科目 (機械工学科)

授 業 科 目		単位数	形態	学 年 別 単 位 数					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用数学Ⅰ	1	履			1			
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	応用数学Ⅲ	1	学				①		
	一般物理	4	学				②	②	
	情報処理Ⅰ	3	履	1	1	1			
	材料力学	4	履			2			
	弾性力学	1	学				②		
	材料学	2	履		1	1			
	機械工作法	4	履		1	2			
	工作機械	2	学				①		
	機構学	2	学				②	②	
	設計法	4	履			1			
	設計製図	6	履	3	3		②	①	
	機械力学	2	学					②	
	熱力学	2	学				②		
	熱工学	2	学					②	
	流体工学	4	学				②	②	
	計測工学	2	学				②		
	電気工学	2	履			1			
	メカトロニクスⅠ	2	学				①		
制御工学	2	学				①	①		
工学通論	2	履	2			②			
創作実習	1	履	1						
機械工作実習	4	履	1	3					
ものづくり総合実習	6	履			6				
機械工学実験	6	学				④	②		
卒業研究	8	履					8		
小 計	81			8	9	15	26	23	
選択科目	設計製図Ⅰ	2	学					②	5年の選択科目は 5単位以上選択
	設計製図Ⅱ	2	学					②	
	文献講読	1	学					①	
	機械工学特別演習	1	学					①	
	情報処理Ⅱ	1	学					①	
	材料力学特論	1	学					①	
	工作特論	1	学					①	
	熱工学特論	1	学					①	
	流体工学特論	1	学					①	
	メカトロニクスⅡ	1	学					①	
	トライボロジ	1	学					①	
	工場実習	2	履				2		
工業技術国際研修	1	履				1			
小 計	16					3	13		
開設単位数計	97			8	9	15	29	36	
修得単位数計	86			8	9	15	26	28	

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数、○付数字は「学修単位1」、□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

専門科目（電気電子工学科）

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	応用数学Ⅰ	1	履			1				
	応用数学Ⅱ	2	学				②			
	電気数学	2	学				□2			
	一般物理	2	学				②			
	工業物理概論	2	学				②			
	電気電子工学基礎	2	履	2						
	情報工学基礎演習	1	履	1						
	電気磁気学Ⅰ	3	履		1	2				
	電気磁気学Ⅱ	2	学				②			
	電気回路Ⅰ	4	履		2	2				
	電気回路Ⅱ	2	学				②			
	電気電子計測Ⅰ	1	履			1				
	電気電子計測Ⅱ	2	学				②			
	電気電子材料	2	学					②		
	電子工学	2	学					②		
	電子回路Ⅰ	1	履			1				
	電子回路Ⅱ	2	学				②			
	通信工学	2	学					□2		
	選択科目	デジタル回路	2	履			2			
		プログラミング	3	履		1	2			
情報処理		2	学				□2			
情報通信ネットワーク		2	学					□2		
電子計算機応用		2	学					②		
電気機器Ⅰ		2	履			2				
電気機器Ⅱ		2	学				②			
制御工学		2	学				②			
電力工学		2	学					②		
電気法規・施設管理		2	学					②		
電気電子製図演習	2	履	2							
創作実習	1	履	1							
電気電子情報工学実験Ⅰ	6	履		3	3					
電気電子情報工学実験Ⅱ	6	学				④	②			
卒業研究	11	履						11		
小計	82			6	7	16	26	27		
選択科目	高電圧工学	2	学					②	5年生は2単位以上選択	
	情報工学	2	学					②	5年生は2単位以上選択	
	電気設計	2	学					②	5年生は2単位以上選択	
	信号処理	2	学					②	5年生は2単位以上選択	
	無線通信概論	1	履					1		
	知識活用教育Ⅰ	2	履				2			
	工場実習	2	履				2			
	工業技術国際研修	1	履				1			
小計	14					5	9			
開設単位数計	96			6	7	16	31	36		
修得単位数計	86			6	7	16	26	31		

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位1」，□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

専門科目（電子制御工学科）

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	応用数学Ⅰ	1	履			1			
	応用数学Ⅱ	2	学				②		
	応用数学Ⅲ	1	学				①		
	一般物理	4	学				②	②	
	生産加工Ⅰ	1	履	1					
	生産加工Ⅱ	1	履			1			
	工学基礎概論	2	学					②	
	図学	1	履	1					
	製図	2	履	1	1				
	情報処理	4	履	2	2				
	デジタル回路	2	履			2			
	ソフトウェア科学Ⅰ	2	履			2			
	ソフトウェア科学Ⅱ	2	学				②		
	数値プログラミング	1	学					①	
	情報通信	2	学					②	
	システム・プログラム論	2	学					②	
	基礎電気工学	2	履	2					
	電気工学	2	履		2				
	電気回路Ⅰ	2	履			2			
	電気回路Ⅱ	2	学				②		
	電気磁気学Ⅰ	2	履			2			
	電気磁気学Ⅱ	3	学				③		
	電子工学	2	学				②		
	電子回路Ⅰ	2	履			2			
	電子回路Ⅱ	2	学				②		
	通信工学	2	学				②		
	計測工学	2	学				②		
	制御工学	2	学				②		
電子制御工学	2	学					②		
創作実習	1	履	1						
工学実験・実習	12	履学		3	3		③	③	
卒業研究	10	履						10	
小計	80			8	8	15	25	24	
選択科目	ロボット工学	1	学					①	5年の選択科目は6単位以上選択
	制御工学特論	1	学					①	
	情報通信特論	2	学					②	
	知識工学	1	学					①	
	画像工学	1	学					①	
	システム工学	2	学					②	
	工場実習	2	履				2		
	工業技術国際研修	1	履				1		
小計	11					3	8		
開設単位数計	91			8	8	15	28	32	
修得単位数計	86			8	8	15	25	30	

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位1」，□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

専門科目 (物質工学科)

授業科目	単位数	形態	学年別単位数					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	物質化学総論	1	履	1						
	生物工学総論	1	履	1						
	応用数学Ⅰ	1	履			1				
	応用数学Ⅱ	2	学				②			
	一般物理	2	学				②			
	情報処理Ⅰ	4	履	1	1	1				
			学				①			
	無機化学	2	履		1	1				
	有機化学	3	履		1	2				
	分析化学	2	履		1	1				
	物理化学Ⅰ	1	履			1				
	物理化学Ⅱ	2	学				②			
	化学工学	4	履			2				
			学				①	①		
	理論有機化学	2	学				②			
	微生物学序論	1	履		1					
	生物化学Ⅰ	2	学				②			
	生物化学Ⅱ	2	学					②		
	機器分析	2	学				②			
	科目	工業英語	2	履			1			
			学				①			
反応工学		2	学				②			
電気・電子工学概論		2	学					②		
機械工学概論		2	学					②		
工学基礎		1	履	1						
品質管理		1	学					①		
環境工学		1	学					①		
物理化学Ⅲ		2	学					②		
創作実習		1	履	1						
目	物質化学実験1	5	履		5					
	物質化学実験2	5	履			5				
	物質化学実験3	5	学				⑤			
	物質化学実験4	2	学					②		
	卒業研究	11	履					11		
	小計	76		5	10	15	22	24		
	必修科目 コース 物質	機能材料科学	1	学					①	
		無機材料科学	2	学				②		
		有機材料科学	2	学				②		
		材料化学実験	3	学					③	
小計	8					4	4			
必修科目 コース 生物	生体触媒工学	2	学				②			
	応用微生物学	2	学				②			
	・子工学	1	学					①		
	生物化学実験	3	学					③		
小計	8					4	4			
共通選択科目	情報処理Ⅱ	1	学					①		
	資化学	1	学					①		
	食品プロセス工学	1	学					①	5年の選択科目は	
	生物環境工学	1	学					①	2単位以上選択	
	物学	1	学					①		
	工場実習	2	履				2			
	工業技術国際研修	1	履				1			
小計	8					3	5			
開設単位数計	92			5	10	15	29	33		
修得単位数計	86			5	10	15	26	30		

1. 形態欄「履」は学則第24条第3項により開設される授業科目。
2. 形態欄「学」は学則第24条第4項により開設される授業科目。
3. 学年別単位数欄の数字は「履修単位」の単位数，○付数字は「学修単位1」，□付数字は「学修単位2」の単位数を表す。

専攻科教育課程

一般科目及び専門基礎科目(機械工学・電気電子工学専攻)

授 業 科 目		単位数	標準履修年次	備 考	
一 般 科 目	必 修 科 目	日 本 語 表 現 法	2	1年	4単位以上修得
		総 合 英 語 I	2	1年	
		総 合 英 語 II	2	2年	
		応 用 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	1年	
		数 理 科 学 I	2	1年	
		数 理 科 学 II	2	1年	
		一 般 化 学	2	1年	
		必修科目修得単位数計	13	/	
	選 択 科 目	技 術 と 哲 学	2	2年	
		国 際 協 力 論	2	1年	
		対 外 交 渉 史 論	2	1年	
		社 会 福 祉 論	2	1年	
		選択科目開設単位数計	8	/	
		選択科目修得単位数計	4以上	/	
一般科目修得単位数計		17以上	/		
専 門 基 礎 科 目	必 修 科 目	技 術 者 総 合 ゼ ミ I	2	1年	
		技 術 者 総 合 ゼ ミ II	1	2年	
		総 合 創 造 実 験	2	1年	
		総 合 創 造 演 習	2	1年	
		現 代 物 理 学	2	1年	
		数 値 解 析	2	1年	
		機 能 材 料 論	2	1年	
		環 境 論	2	1年	
	専門基礎科目修得単位数計		15	/	
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計		36	/		
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計		32以上	/		

一般科目及び専門基礎科目(物質工学専攻)

授 業 科 目		単位数	標準履修年次	備 考	
一 般 科 目	必 修 科 目	日 本 語 表 現 法	2	1年	4単位以上修得
		総 合 英 語 I	2	1年	
		総 合 英 語 II	2	2年	
		応 用 コミュニケーション	1	1年	
		数 理 科 学 I	2	1年	
		数 理 科 学 II	2	1年	
		必修科目修得単位数計	11		
	選 択 科 目	技 術 と 哲 学	2	2年	
		国 際 協 力 論	2	1年	
		対 外 交 渉 史 論	2	1年	
		社 会 福 祉 論	2	1年	
		選択科目開設単位数計	8		
		選択科目修得単位数計	4以上		
	一般科目修得単位数計		15以上		
専 門 基 礎 科 目	必 修 科 目	技 術 者 総 合 ゼ ミ I	2	1年	
		技 術 者 総 合 ゼ ミ II	1	2年	
		総 合 創 造 実 験	2	1年	
		総 合 創 造 演 習	2	1年	
		現 代 物 理 学	2	1年	
		数 値 解 析	2	1年	
		機 能 材 料 論	2	1年	
		環 境 論	2	1年	
	専門基礎科目修得単位数計		15		
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計		34			
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計		30以上			

専門科目(機械工学専攻)

授業科目		単位数	標準履修年次	備考	
専 門 科 目	必 修 科 目	特 別 研 究	8	2年	6単位以上修得
		科 学 英 語 文 献 ゼ ミ	2	2年	
		場 の 力 学	2	1年	
		粘 性 流 体 力 学	2	1年	
		精 密 加 工 特 論	2	1年	
		熱 流 動 工 学	2	2年	
		機 械 振 動 論	2	1年	
		情 報 基 礎 論	2	1年	
		ソ フ ト ウ ェ ア 科 学 概 論	2	1年	
		生 命 科 学	2	1年	
		必修科目修得単位数計	26		
科 目	選 択 科 目	固 体 力 学	2	1年	
		製 造 シ ス テ ム 論	2	1年	
		流 れ 学	2	2年	
		破 壊 強 度 論	2	2年	
		応 用 計 測 工 学	2	2年	
		応 用 力 学 解 析 法	2	2年	
		工 業 計 測 学	2	2年	
		メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学	2	2年	
		材 料 科 学	2	2年	
		応 用 物 理 化 学	2	2年	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2年	
		選択科目開設単位数計	22		
		選択科目修得単位数計	6以上		
専 門 科 目 開 設 単 位 数 計		48			
専 門 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 数 計		36			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
開 設 単 位 数 総 計		84			
修 得 単 位 数 総 計		64以上			

専門科目(電気電子工学専攻)

授業科目		単位数	標準履修年次	備考	
専 門 科 目	必 修 科 目	特 別 研 究	8	2年	6単位以上修得
		科 学 英 語 文 献 ゼ ミ	2	2年	
		材 料 科 学	2	2年	
		情 報 科 学	2	2年	
		画 像 情 報 工 学	2	1年	
		通 信 方 式	2	1年	
		電 気 エ ネ ル ギ ー 応 用	2	1年	
		固 体 力 学	2	1年	
		製 造 シ ス テ ム 論	2	1年	
		生 命 科 学	2	1年	
		必修科目修得単位数計	26		
科 目	選 択 科 目	情 報 基 礎 論	2	1年	
		ソ フ ト ウ ェ ア 科 学 概 論	2	1年	
		非 線 形 回 路	2	1年	
		知 識 情 報 工 学	2	2年	
		放 電 工 学	2	2年	
		磁 気 工 学	2	2年	
		メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学	2	2年	
		工 業 計 測 学	2	2年	
		生 産 シ ス テ ム 工 学	2	2年	
		応 用 物 理 化 学	2	2年	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2年	
		電 気 通 信 概 論	2	1,2年	
		選択科目開設単位数計	24		
		選択科目修得単位数計	6以上		
専 門 科 目 開 設 単 位 数 計		50			
専 門 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 数 計		36			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
開 設 単 位 数 総 計		86			
修 得 単 位 数 総 計		64以上			

専門科目(物質工学専攻)

授業科目		単位数	標準履修年次	備考	
専 門 科 目	必 修 科 目	特 別 研 究	8	2年	6単位以上修得
		科 学 英 語 文 献 ゼ ミ	2	2年	
		計 算 化 学	2	2年	
		触 媒 プ ロ セ ス 工 学	2	1年	
		無 機 工 業 化 学	2	2年	
		工 業 分 析 化 学	2	1年	
		移 動 現 象 論	2	1年	
		高 分 子 工 学	2	1年	
		酵 素 工 学	2	1年	
		情 報 基 礎 論	2	1年	
		ソ フ ト ウ ェ ア 科 学 概 論	2	1年	
		必修科目修得単位数計	28		
科 目	選 択 科 目	生 命 科 学	2	1年	
		固 体 力 学	2	1年	
		製 造 シ ス テ ム 論	2	1年	
		応 用 物 理 化 学	2	2年	
		植 物 学 特 論	2	2年	
		構 造 生 物 化 学	2	2年	
		工 業 計 測 学	2	2年	
		材 料 科 学	2	2年	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2年	
		選択科目開設単位数計	18		
選択科目修得単位数計	6以上				
専 門 科 目 開 設 単 位 数 計		46			
専 門 科 目 修 得 単 位 数 計		34以上			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 数 計		34			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 修 得 単 位 数 計		30以上			
開 設 単 位 数 総 計		80			
修 得 単 位 数 総 計		64以上			

付表 学習・教育目標とその評価方法および評価基準

学習・教育目標		評価方法および評価基準	総合評価項目
(A) 工学の基礎と専門	A-1	<p>①別表A-1欄に示す数学・自然科学の科目各群より各専攻における必修科目以上を修得する。</p> <p>②数学については、多変数関数の微積分、線形空間、行列、行列式、微分方程式、確率分布、仮説検定の内容の総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。</p> <p>③一般化学については、原子構造、化学量論、化学結合、酸・塩基、酸化・還元、基礎有機化学の内容の総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。</p> <p>④物理については、力学(運動の法則、運動量、放物運動)、電磁気学(静電場、直流回路、磁場、電磁力、電磁誘導)、現代物理(特殊相対論、一般相対論、物質の波動性と粒子性、量子力)</p>	総合試験Ⅰ (数学、自然科学、情報技術)
	A-2	<p>①別表A-2欄に示す情報技術の科目群より各専攻における必修科目以上を修得する。</p> <p>②基本的なプログラムやアルゴリズムを理解し、作成、プログラム化できることを技術士一次試験レベルの総合試験Ⅰ(基礎)により評価する。</p>	
	A-3	<p>①別表A-3欄に示す基礎工学の「設計・システム系」、「情報・論理系」、「材料・バイオ系」、「力学系」、「社会技術系」から各系1科目、計6科目以上を修得する。</p> <p>②設計・システム、材料・バイオ、力学、社会技術に関する内容の技術士一次試験レベルの総合試験Ⅱ(基礎工学)により評価する。</p>	総合試験Ⅱ (基礎工学)
	A-4	<p>①別表A-4欄に示すもの創り専門工学の「材料・要素群」、「設計・製造群」、「評価・解析群」、「複合系群」から各群2科目以上を修得する。</p> <p>②材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系に関する内容の技術士一次試験レベルの総合試験Ⅲ(専門工学)により評価する。</p>	総合試験Ⅲ (専門工学)
(B) 地球的視点と技術者倫理	B-1	<p>①別表B-1欄に示す「社会系科目群」より2科目以上修得する。ただし、専攻科においては「対外交渉史論」が「国際協力論」のどちらかを修得する。</p> <p>②「民族や宗教に根ざす地域紛争や重要資源の利権に関する国際問題など、現代の国際社会における諸問題」の中から具体的なテーマを設定させ、レポートを提出させる(総合試験Ⅳ)。「歴史的・文化的背景を踏まえているか」、「多文化共生、文化の相対性などの概念を踏まえているか」、「グローバルな視点で問題を捕らえているか」、「テーマの設定が適切で、問題に対する理解度が十分か」という観点から評価する。</p>	総合試験Ⅳ (地球的視点)
	B-2	<p>①別表B-2欄に示す「倫理系科目群」より2科目以上修得する。</p> <p>②技術者の専門職としての責務、技術と公衆、社会、環境との関係、また、科学技術の社会的意味など、現代の技術者や科学技術をめぐる諸問題について具体的なテーマを設定させ、レポートを提出させる(総合試験Ⅴ)。「技術が公衆、社会、環境などに与える影響を理解しているか」、「科学技術と人間生活の関係をグローバルにとらえる視点があるか」、「技術者としての社会的責任の自覚があるか」、「テーマの設定が適切で、問題に対する理解度が十分か」という観点から評価する。</p>	総合試験Ⅴ (技術者倫理)
(C) コミュニケーション能力	C-1	<p>①「日本語表現法」において、自ら取組んだ研究について、一般人対象に説明する文章を作成させ、評価する。</p> <p>②「卒業研究」と「特別研究」の審査・発表会で評価する。</p>	
	C-2	<p>①「技術者総合ゼミ」において、プレゼンテーション、ディベート、講演会などにおける質疑応答を評価する。</p> <p>②「卒業研究」と「特別研究」の審査・発表会における質疑応答を評価する。</p>	
	C-3	<p>①英語を使った会話能力を育成し、日常的内容に関して、その会話を継続できるかを評価する。</p> <p>②英語を用いたリスニング・リーディング能力を育成し、主たる内容を理解できるかを評価する。</p> <p>③英語によるプレゼンテーション課題に取り組み、自分の意見をわかりやすく伝えることができるかを評価する。</p>	
	C-4	<p>①英語で書かれた工業分野に関するテキスト・論文を読む課題に取り組み、その主たる内容を理解できるかを評価する。</p> <p>②英語を用いたアブストラクト作成課題に取り組み、適切にその内容を表現できるかを評価する。</p>	
(D) 複眼的かつ実践的能力	D-1	<p>①「工学実験」を通じて総合的に評価する。</p> <p>②「総合創造実験」において、指定された実験テーマの指導書の作成と他分野の学生への実験指導を通じて、学生の実験計画・遂行能力を評価し、他分野の実験実施後に、結果の解析と報告書作成・報告会における説明を行うことにより、説明・説得能力を評価する。</p>	①学生の取得
	D-2	<p>①「卒業研究」や「特別研究」を通じて総合的に評価する。</p> <p>②「総合創造演習」のマイクロ・プロセス内蔵の装置製作の課題を通じて、装置の考案から創造性を評価し、与えられた期限内における材料手配・購入・製作・完成後の競技発表会を通じて総合的に評価する。</p>	②TOEICスコア400点相当以上
	D-3	<p>①「卒業研究」や「特別研究」を通じて総合的に評価する。</p> <p>②「総合創造演習」において、与えられた課題に対して異なる機能を持つパーツを組み合わせて一つのパッケージにデザインし、それを実際に組み立ててどの程度課題を克服したかを総合的に評価する。</p>	③学協会等での発表
	D-4	<p>実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること</p> <p>与えられたテーマに関する問題点を自ら見出し、その解決方法の検討、実践を経て報告書にまとめ、発表する一連の作業を総合的に評価する。</p>	
(E) 自主・自立と協調性	E-1	<p>「卒業研究」や「特別研究」で、最新の研究テーマ、科学技術に触れ、研究テーマに関する学習、参考文献で得た知識や技術を基に自ら研究に取り組み、また、長期間研究を進めることにより、継続的な学習を体験させ、研究論文と審査・発表会の評価も含めて総合的に評価する。</p>	
	E-2	<p>「工学実験」、「総合創造実験」、「総合創造演習」において、与えられた課題やテーマ問題を与えられた条件(実験装置やグループ人数)の下で遂行し、期限内に結果を解析・考察するまでの一連の作業を総合的に評価する。</p>	
	E-3	<p>①「健康と科学」において、生涯スポーツとしての各種スポーツ種目を選択し、自主的に体力の向上をはかる能力や集団スポーツにおける協調性、さらに健康の維持増進に関する基本的な知識等を総合的に評価する。</p> <p>②実験や演習等のグループで実施する科目において、協調性を評価する。</p> <p>③「工場実習」や「インターンシップ」を通して、社会の中での協調性を評価する。</p>	

※全ての項目において、卒業・修了に必要な科目の修得が必要である。

別表 学習・教育目標と科目対応表

*専攻科

学習教育目標		JABEE	科 目 名						
A	A-1	C	数学群	自然科学群	情報技術群				
			応用数学Ⅱ 応用数学Ⅲ 電気数学演習 数学特論 線形代数* 確率・統計*	一般物理 工業物理概論 自然科学概論 植物学 健康と科学 現代物理学* 一般化学* 構造生物化学*					
	A-2	C			情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報通信ネットワーク 数値プログラミング 情報処理演習 情報科学* 数値解析* 情報基礎論* ソフトウェア科学概論*				
	A-3	d-1	基礎工学	専攻	設計・システム系	情報・論理系	材料・バイオ系	力学系	社会技術系
				共通	製造システム論*	情報基礎論* ソフトウェア科学概論*	機能材料論* 材料科学*	固体力学* 応用物理化学*	環境論* 技術者倫理 技術と哲学*
				機械	制御工学	情報処理Ⅱ		機械力学 熱力学	文献講読
				電気電子	制御工学 電気回路Ⅱ	電子計算機応用 情報通信 情報科学*	電気電子材料	電気磁気学Ⅱ	生産システム工学*
				物質	品質管理 環境工学 移動現象論*	情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ	生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ	計算化学*	工業英語
	A-4	d-2a e	もの創り専門工学	専攻	材料・要素群	設計・製造群	評価・解析群	複合系群	
共通						工業計測学*	生命科学*		
機械				材料力学 弾性力学 材料力学特論 トライボロン 場の力学* 破壊強度論*	機械工作法 工作機械 設計法 熱工学 流体工学 熱工学特論 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ 工作特論 精密加工特論* 熱流動工学*	機構学 計測工学 流体工学特論 機械振動論* 粘性流体力学* 流れ学* 応用計測工学* 応用力学解析法*	電気工学 メカトロニクスⅠ メカトロニクスⅡ メカトロニクス工学*		
電気・電子				電子工学 ソフトウェア科学Ⅱ 電気電子計測Ⅱ システム・プログラム論 高電圧工学 通信方式* 放電工学* 磁気工学*	電力工学 電気機器Ⅱ 電気設計 ロボット工学 制御工学特論 知識工学 システム工学 電子制御工学 電気エネルギー応用* 知識情報工学* メカトロニクス工学*	ソフトウェア科学Ⅱ 計測工学 電子回路Ⅱ 信号処理 情報通信特論 画像工学 画像情報工学* 非線形回路*	工学基礎概論 通信工学 電気法規・施設管理		
物質	理論有機化学 機能材料科学 無機材料科学 有機材料科学 細胞・遺伝子工学 生体触媒工学 応用微生物学 資源化学 無機工業化学* 植物学特論*	化学工学 反応工学 生物環境工学 食品プロセス工学 酵素工学* 高分子工学*	機器分析 工業分析化学* 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 触媒プロセス工学*	電気電子工学概論 機械工学概論					
B	B-1	a	国際関係論	地理学	経済学	歴史学 第二外国語	対外交渉史論* 国際協力論*		
	B-2	b	技術者倫理	哲学	法学	技術と哲学* 社会福祉論*	環境論*		
C	C-1	f	日本語と文学	日本語表現法*	卒業研究	特別研究*	工学実験**		
	C-2	f	技術者総合ゼミ*	卒業研究	特別研究*	技術者基礎			
	C-3	f	英語 コミュニケーション	英会話	総合英語Ⅰ*	総合英語Ⅱ*	応用コミュニケーション*		
	C-4	f	科学英語文献ゼミ*	特別研究*	総合英語Ⅰ*	総合英語Ⅱ*	工業英語 文献講読 機械工学特別演習		
D	D-1	d-2 h	工学実験**	総合創造実験*					
	D-2	d-2c h	総合創造演習*	卒業研究	特別研究*				
	D-3	e	総合創造演習*	卒業研究	特別研究*				
	D-4	d-2 d	工学実験**	総合創造実験*	卒業研究	特別研究*	工場実習 インターンシップ*		
E	E-1	g	卒業研究	特別研究*	技術者総合ゼミ*	技術者基礎			
	E-2	h	工学実験**	総合創造実験*	総合創造演習*				
	E-3	h	工学実験**	総合創造実験*	総合創造演習*	健康と科学 工場実習	インターンシップ*		

工学実験**: (機械)機械工学実験, (電気)電気電子情報工学実験Ⅱ, (電子制御)工学実験・実習, (物質)物質工学実験3, 物質工学実験4